

## 出荷実績 及び ミキサー車保有台数

### 出荷実績

- ◎ 出荷実績は、昭和63年の522万 $m^3$ をピークに減少し、平成22年は173万 $m^3$ まで落ち込み最盛期の1/3程度で推移している。
- ◎ 今年度の出荷想定数は188万 $m^3$ を見込んでいましたが上半期実績+想定数では190万 $m^3$ を超える状況です。平成22年以降若干ではありますが上向きに転じています。

### ミキサー車の保有台数(平成16年から10年間の推移)

- ◎ 出荷実績が300万 $m^3$ 台のミキサー車の保有台数は大きく変化していませんが、平成18年を境に平成22年の173万 $m^3$ の下落以降の車両台数の減少が顕著です。
- ◎ 工場の閉鎖・廃業、組合員の脱退などによる減車も有るものの各工場のミキサー車保有台数は減少する一方です。

### ミキサー車の減車要因

- ◎ セメント・骨材・燃料のコストアップに伴い、各社人件費・設備投資などの経費節減の結果、ミキサー車の減車が顕著(備車により不足車両を確保)
- ◎ 運転手不足、運転手の高齢化により減少の一途

### 備車及び派遣運転手の状況

- ◎ 輸送会社の現状は生コン業界と同様で需要バランスから減少している。
- ◎ 運転手の高齢化、若手運転手のなり手がいなくなり年々大幅に減少している。
- ◎ 先行きの需要が不透明で増車は難しい。

### ミキサー車保有台数の推移

| 車両       | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大型(10t)  | 930   | 919   | 879   | 939   | 952   | 890   | 791   | 688   | 701   | 656   |
| 中型(8・7t) | 132   | 133   | 150   | 167   | 196   | 173   | 178   | 138   | 128   | 114   |
| 中型(5t)   | 47    | 45    | 41    | 33    | 24    | 20    | 19    | 7     | 7     | 7     |
| 小型(4t)   | 206   | 210   | 202   | 197   | 197   | 199   | 184   | 149   | 139   | 118   |
| 計        | 1,315 | 1,307 | 1,272 | 1,336 | 1,369 | 1,282 | 1,172 | 982   | 975   | 895   |

### 出荷実績

|      | 平成16年     | 平成17年     | 平成18年     | 平成19年     | 平成20年     | 平成21年     | 平成22年     | 平成23年     | 平成24年     | 平成25年     |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 出荷実績 | 3,056,756 | 3,012,619 | 3,140,875 | 2,834,740 | 2,421,340 | 1,941,215 | 1,737,845 | 1,758,018 | 1,869,108 | 1,908,812 |

※上半期実績+想定

